

# 看護情報学

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：データと情報の違いを理解し、どのようなデータを情報として看護に活用するかを理解できる。看護の分野で情報科学をどのように活用しているか、その上で守らなければならない倫理や法的根拠を知り、今後の活用について考えることができる。

■**到達目標**：①どのようにデータを情報として活用するかを理解する。  
②看護分野での情報科学技術の活用について理解する。  
③情報を活用する上で守らなければならない倫理、法的根拠を理解する。

■**担当教員**：

佐藤 ひとみ

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 看護情報学とは何か
- 第 2 回 看護の情報とは何か、どう活用するか
- 第 3 回 看護情報の活用について（看護過程への応用を想定した演習）
- 第 4 回 看護情報の活用について（看護過程への応用を想定した演習）
- 第 5 回 看護用語の標準化（標準化という観点で看護診断、クリニカルパスについてふれる）
- 第 6 回 看護情報の倫理・法的根拠
- 第 7 回 看護を支援するシステム
- 第 8 回 看護情報活用の未来（看護研究の視点も加えて）

■**教科書**：なし

■**参考文献**：看護情報学：太田勝正、猫田泰敏、医学書院、2008

■**成績評価基準と方法**：レポート（演習発表を含む） 100点

欠席は1回につき5点減点します。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	積極的な姿勢・発言を重視する。	50
発表	◎	◎		グループ討議に積極的に参加していること。	
出席				欠席1回5点減点	
レポート	◎	◎		データと情報の違い、データをどのように情報化したかという過程と根拠が明確に記述されていること。その上で、自分の考えが述べられていること。	50

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：医療情報学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：臨床場面で役立つ看護情報学を目指します。看護過程の例題を通してデータと情報の違い、データを情報化していくプロセス、臨床で必要とされる知識を統合する過程を学んでもらいます。授業への積極的な参加姿勢を評価します。